

総務文教常任委員会審査日程

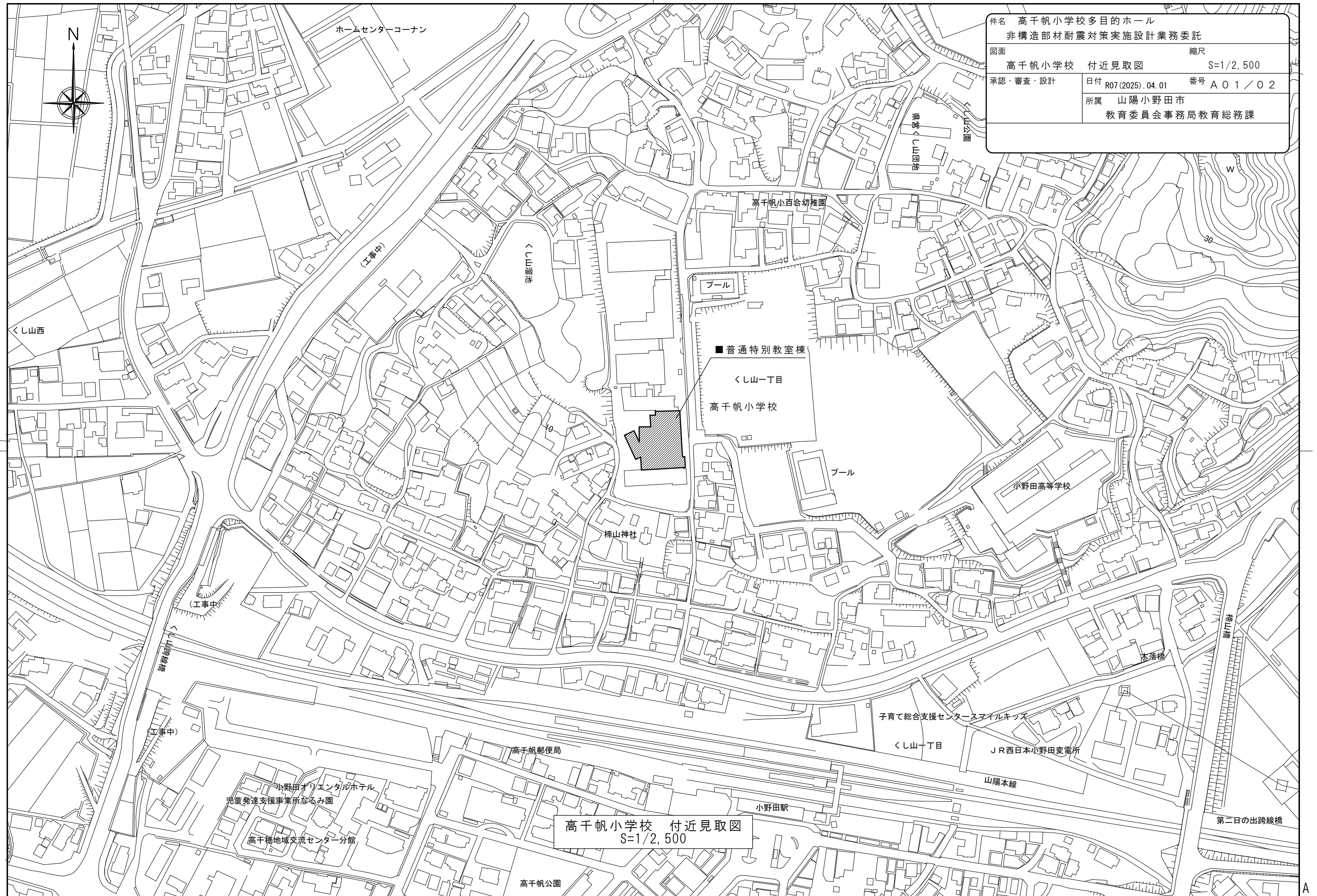
日 時 令和 8 年 8 月 2 5 日（火）

広報広聴特別委員会終了後

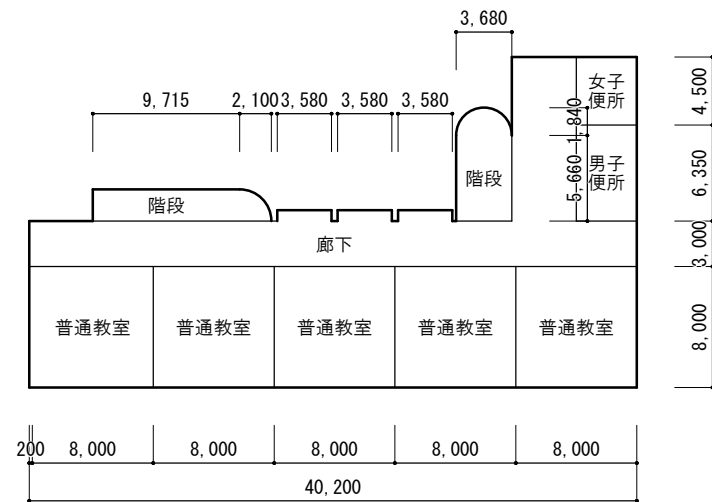
場 所 第 1 委員会室

～審査内容～

- 1 所管事務調査 令和 8 年度学校施設の非構造部材の耐震化事業に係る実施内容の変更について
- 2 所管事務調査 令和 8 年度山陽小野田市立中学校特別教室空調設備設置事業に係る実施内容の変更について
- 3 その他

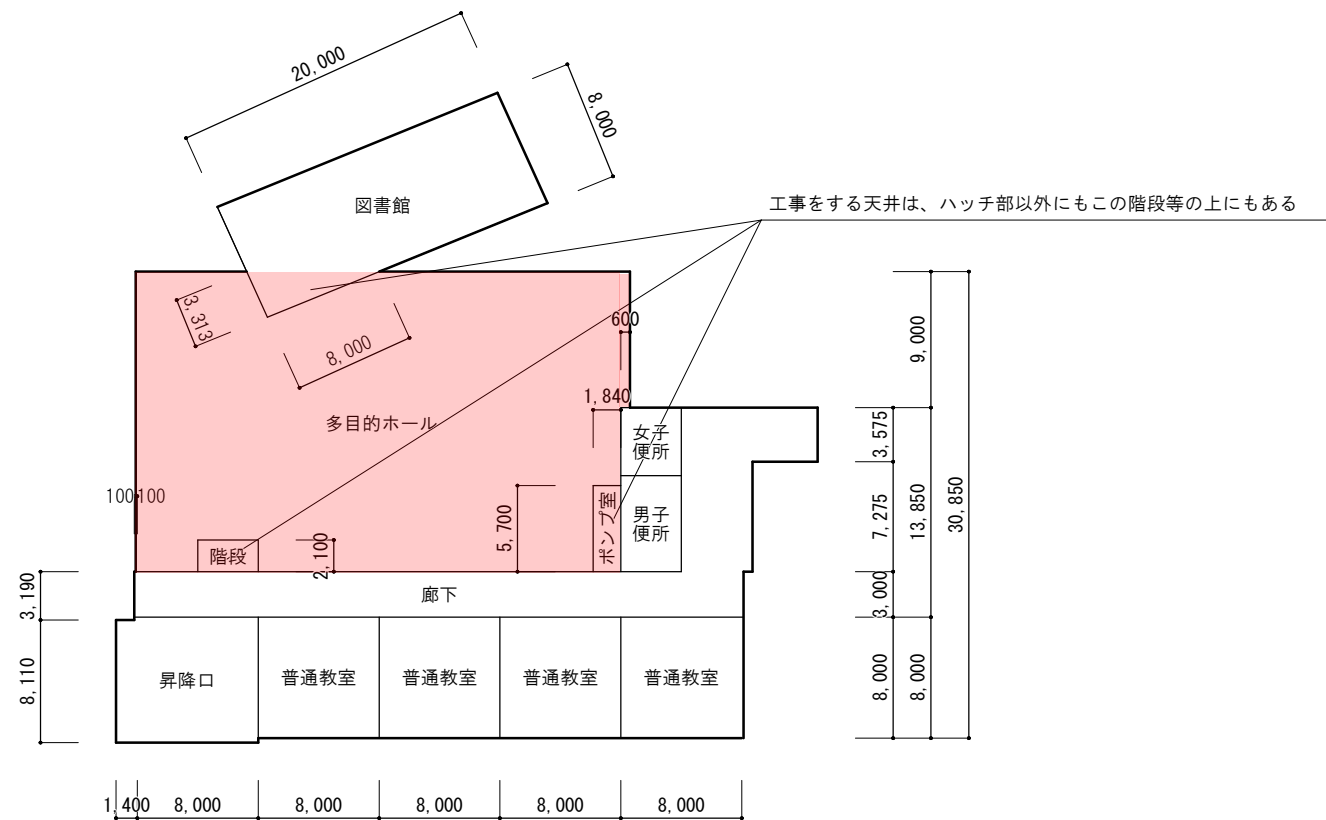


件名 高千帆小学校多目的ホール 非構造部材耐震対策実施設計業務委託		
図面		縮尺
普通特別教室棟 平面図(1・2階) S=1/500		
承認・審査・設計	日付 R07(2025).04.01	番号 A 0 2 / 0 2
	所属 山陽小野田市 教育委員会事務局教育総務課	



普通特別教室棟 平面図(2階)
S=1/500

多目的ホール
面 積：605m²
天井高：4.84m～6.78m



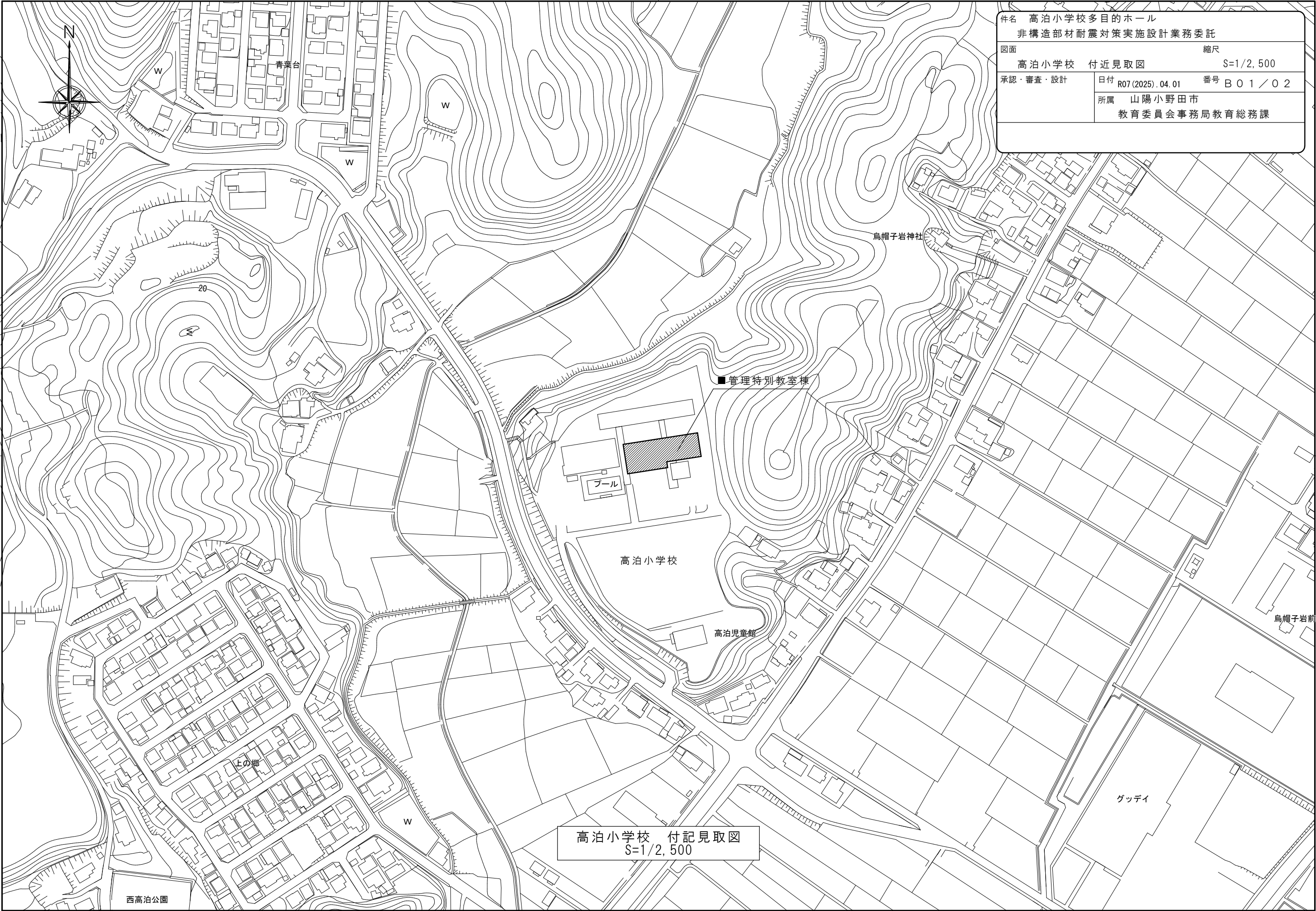
普通特別教室棟 平面図(1階)
S=1/500

高千帆小学校 多目的ホール

面 積：605 m²

天井高：4.84m～6.78m

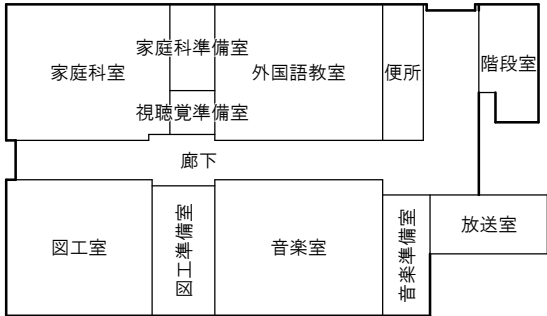




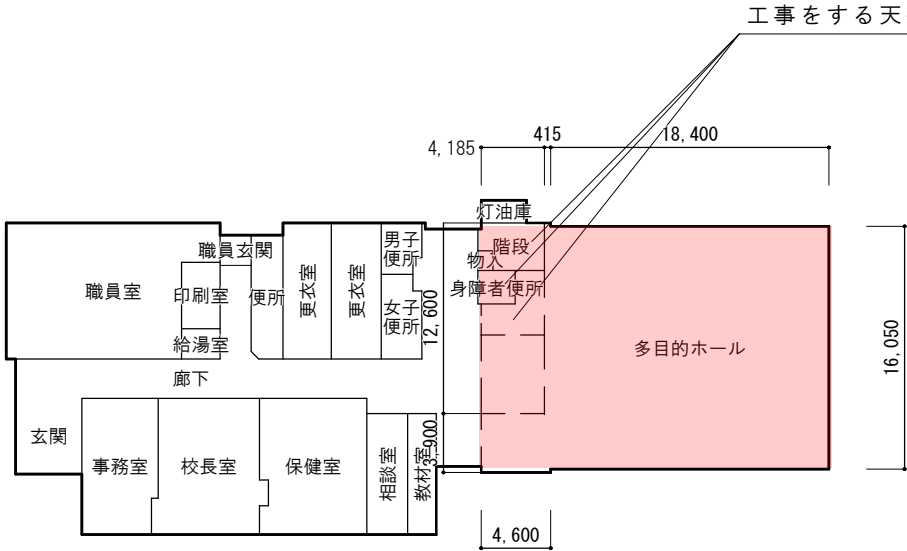
件名 高泊小学校多目的ホール		
非構造部材耐震対策実施設計業務委託		
図面	縮尺	
高泊小学校 付近見取図		S=1/2, 500
承認・審査・設計	日付	R07(2025).04.01
	番号	B 0 1 / 0 2
所属 山陽小野田市 教育委員会事務局教育総務課		

高泊小学校 付記見取図
S=1/2, 500

件名 高泊小学校多目的ホール 非構造部材耐震対策実施設計業務委託		
図面 管理特別教室棟 平面図		縮尺 S=1/500
承認・審査・設計	日付 R07(2025).04.01	番号 B 0 2 / 0 2
	所属 山陽小野田市 教育委員会事務局教育総務課	



管理特別教室棟 平面図(2階)
S=1/500



多目的ホール
面 積：340㎡
天井高：5.30m

管理特別教室棟 平面図(1階)
S=1/500

高泊小学校多目的ホール

面 積：340 m²

天井高：5.30m



学校施設の非構造部材の耐震化事業 対象施設

学校名	棟名	教室名	面積（㎡）	天井高（mm）	吊り天井	
高千帆小学校	㊴普通教室棟1階	多目的ホール	605	4,840～6,780	該当	※6m以上の天井 高が200㎡未満
高泊小学校	㊴管理特別教室棟1階	多目的ホール	340	5,300	該当	
赤崎小学校	㊴教室棟1階	多目的ホール	298	3,000～6,500	該当	※6m以上の天井 高が200㎡未満
本山小学校	㊴普通管理特別教室棟2階	多目的ホール	341	4,500	非該当	対象外
小野田中学校	㊴特別教室棟2階	多目的ホール	305	3,480	非該当	対象外
竜王中学校	㊴管理特別教室棟2階	多目的ホール	207	2,550	非該当	対象外

○事業対象から外した理由

本山小学校	多目的ホールの天井にあるものは、吊り天井ではなく、ルーバーと言われるかざりであり、建築基準法に規定されている特定天井に当たらないため。また、①高さが6mを超える天井、②水平投影面積が200㎡を超える天井のいずれにも該当しないため。
小野田中学校 竜王中学校	多目的ホールの面積は200㎡以上（小野田中：305㎡、竜王中：207㎡）だが、構造体である梁で仕切られており、梁で仕切られた天井面ごとでみると200㎡未満であることから、建築基準法に規定されている特定天井に当たらないため。また、①高さが6mを超える天井、②水平投影面積が200㎡を超える天井のいずれにも該当しないため。

特別教室空調設備設置事業（中学校）

※ 1 教室あたり概算工事費8,000千円で算定している。

令和 9 年度設置予定

(千円)

	理科室	家庭科室	美術室	技術室	音楽室	コミュク	計	金額
高千帆中	2	2	1	2	1	1	9	72,000
厚狭中	2	2	1	1		1	7	56,000
計	4	4	2	3	1	2	16	128,000

(千円)

事業費	128,000
国庫支出金（学校施設環境改善交付金）	42,666
地方債（学教債・補助・充当率75%）	64,000
一般財源	21,334

〔参考〕 交付税措置額（学教債・補助・措置率30%）	19,200
〔参考〕 実質的な市負担額	66,134

令和 1 0 年度以降設置予定

(千円)

	理科室	家庭科室	美術室	技術室	音楽室	コミュク	計	金額
小野田中	2	2	1	2	1	1	9	72,000
竜王中	1	1	1	1		1	5	40,000
埴生中	2	2	1	1		1	7	56,000
厚陽中	1	2	1	1			5	40,000
計	6	7	4	5	1	3	26	208,000

※竜王中学校松原分校は除く。

※厚陽中学校のコミュニティスクールは、小学校棟に配置するため中学校費から除いている。

(千円)

事業費	208,000
国庫支出金（学校施設環境改善交付金）	69,333
地方債（学教債・補助・充当率75%）	104,000
一般財源	34,667

〔参考〕 交付税措置額（学教債・補助・措置率30%）	31,200
〔参考〕 実質的な市負担額	107,467

※学校施設環境改善交付金については補助率1/3となっているが、補助単価が定められていることから、実際に交付される補助額は、補助率1/3を下回る可能性がある。

令和8年度学校施設の非構造部材の耐震化事業に係る実施内容の変更に
ついて

1 経緯

本事業について、当初予算では高千帆小学校多目的ホール及び高泊小学校多目的ホールの2校における、非構造部材耐震対策工事（吊り天井の撤去・照明LED化）のための実施設計費用として、4,800千円を計上していた。

4月以降、入札に向けて参考見積を業者から徴取したが、当初予算額よりも高い金額が示されたことから、設計内容をより具体的に明記することで、不確実性に係るコスト抑制を図るなど設計書を見直し、その後2回、参考見積を徴取したが、当初予算に収まらなかった。

このため、事業実施に当たり協議した結果、次の理由により、令和8年度は高泊小学校1校の実施設計を、令和9年度に高泊小学校の工事及び高千帆小学校の実施設計を行うこととしたい。

2 令和8年度の実施設計を1校のみとする理由

上記1のとおり、実施設計費が人件費高騰により上昇していることに加え、令和9年度に向けて、建築住宅課で2校の概算工事費を見積もったところ、計画（高千帆小学校35,000千円、高泊小学校35,000千円）よりも高千帆小学校では約80,000千円、高泊小学校では約23,000千円高くなることが分かった。よって、教育委員会としては、その他の事業も確実に進めていきたいとの考えや市の財政状況を考慮した結果、令和8年度の実施設計は1校とした。

3 高泊小学校を選定した理由

高千帆小学校については、多目的ホールの横に普通教室があることから、夏休み期間での斫り工事が必須であり、令和9年度に工事を施工しようとする令和9年4月初頭に起工する必要がある。

一方、高泊小学校については、4月初頭に起工する必要がある。

令和8年度の実施設計については、8月下旬に入札し、契約締結を予定しており、設計業務完了予定が3月となる。

よって、設計業務完了後、設計内容を精査し、4月中旬以降に起工予定であるため、高泊小学校から実施することとした。

4 補正しない理由

9月で当初予算を補正し、2校分の設計を行う場合、実施設計業務が年度内に完了せず、令和9年5月末となる見込みであり、令和9年度の施工ができなくなるため。

5 今後の計画（予定）

No.	学校名	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
1	高泊小学校	設計	工事		
2	高千帆小学校		設計	工事	
3	赤崎小学校			設計	工事

※いずれも多目的ホール

令和8年度山陽小野田市立中学校特別教室空調設備設置事業に係る実施
内容の変更について

1 経緯

本事業について、当初予算では市内中学校の6校において、特別教室に空調設備を設置するための実施設計費用として、7,901千円を計上していた。

令和8年3月の一般会計予算決算常任委員会総務文教分科会において、「ガス、電気の熱源比較はしないのか。」との質問を受けたことから、4月以降入札に向けて、（ア）熱源比較・実施設計をする、（イ）実施設計のみをする、2パターンで参考見積を徴取した。

その結果、（ア）（イ）いずれのパターンにおいても、予算額よりも高い金額が示された。これについて、事業実施に当たり協議した結果、市として①熱源比較は実施しない、②実施設計を6校分から2校分にする、こととした。

2 熱源比較をしない理由

電気式で空調を設置する場合は、現在各学校に設置されているキュービクルの容量で足りると見込まれることから、ガス式に比べてイニシャルコストが削減できる。

また、近隣市に電気式とガス式の空調が混在している棟があるか確認したところ、一斉整備した際には、そういった事例はないとのことであった。さらに、熱源比較をする場合は、見積金額の差から1校当たり1,000千円の経費がかかることから、上記のことも含め、熱源比較を実施しないこととした。

3 令和8年度の実施設計を6校から2校とする理由

9月で当初予算を補正し、6校分の設計を行う場合、実施設計業務が年度内に完了せず、令和9年5月末となる見込みであり、令和9年度の施工ができなくなる。

また、教育委員会として学校数が減っても、確実に事業を実施することを優先し、今年度中に実施設計を終え、来年度から順次中学校の特別教室に空調設備を設置したいと考える。

以上のことから、令和8年度は、当初予算の範囲内で実施設計できる2校とした。

4 高千帆中学校と厚狭中学校を選定した理由

本事業については、工事費用の平準化を図るため、2か年かけて設置を計画しており、来年度に3校の工事を予定としていたところであり、そのうち生徒数が多い高千帆中学校と厚狭中学校を選定した。

5 補正しない理由

9月で当初予算を補正し、6校分の設計を行う場合、実施設計業務が年度内に完了せず、令和9年5月末となる見込みであり、令和9年度の施工ができなくなるため。

6 今後の計画（予定）

No.	学校名（空調設置教室数）	令和8年度	令和9年度	令和10年度
1	高千帆中学校（9）	設計	工事	
2	厚狭中学校（7）	設計	工事	
3	小野田中学校（9）		設計	工事
4	竜王中学校（5）		設計	工事
5	厚陽中学校（5）		設計	工事
6	埴生中学校（7）		設計	工事